

環境理念・環境方針

企業活動や社員行動を通じて環境理念の実現を目指しています。

●環境理念

制定：2015年9月1日

日本光電は、すべての人々が豊かな生活環境を享受できるように、あらゆる企業活動や社員行動を通して、かけがえない地球環境の保全と質的向上に努める。

●環境方針

制定：2017年4月1日

日本光電は、経営理念、環境理念に基づき、環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境パフォーマンスを向上させる。

1. 環境配慮型製品の提供

医用電子機器の開発・生産・販売・保守および支援業務において、地球環境に配慮した製品・サービスを提供する。

製品のライフサイクル全体を通じて、省エネルギー、省資源、有害物質の不使用を実現することで、温室効果ガス排出量の削減、有限な資源の持続的な利用に貢献する。

2. 事業活動における省エネルギーの推進、廃棄物の削減

全ての事業活動およびサプライチェーンと協働し、低炭素・高効率技術の導入、改善活動を継続的に行うことで、省エネルギーの推進、3R*推進による廃棄物の削減、中長期的な温室効果ガス排出量の削減、環境汚染の予防に努める。

3. 環境関連法規制・協定の遵守

グローバル企業として、全ての事業活動において、国内外の環境に関する法規制・条例並びに同意した協定を遵守し、気候変動への対応、水資源保護、生物多様性の保全など、利害関係者からの期待に応え、責任を果たす。

4. 環境教育の推進

環境問題に関し、見識を深める適切な教育や啓発活動を行うとともに、個々の生産性向上が環境改善活動に結びつけられるよう、教育を推進する。

※3R: Reduce(リデュース:減らす)、Reuse(リユース:繰り返し使う)、Recycle(リサイクル:再資源化)のこと。

●中長期環境目標

制定：2017年4月1日

2050年度 環境目標	1. ライフサイクルを通じた温室効果ガス排出量を2013年度比80%削減することを目指し、環境配慮型製品の提供、サプライチェーンとの協働を進める。
2030年度 環境目標	1. ライフサイクルを通じた温室効果ガス排出量を2013年度比26%削減することを目指し、環境配慮型製品の提供、サプライチェーンとの協働を進める。
2020年度 環境目標	1. ライフサイクルを通じた温室効果ガス排出量を2013年度比12%削減することを目指し、環境配慮型製品の提供、サプライチェーンとの協働を進める。

●2020年度環境目標

制定：2020年4月1日

2020年度 環境目標	1. 業務効率向上による生産性向上と環境負荷低減 2. 事業活動の中で環境負荷低減の推進と汚染の予防 3. 事業活動の中で脱炭素社会実現に向けたエネルギー使用量、CO ₂ 排出量の継続的低減 4. 循環型社会形成への貢献
----------------	--

●認証取得

◎ISO14001

富岡工場では2001年10月にISO14001:1996の認証を取得し、2005年10月にISO14001:2004への移行審査を受けました。2007年1月には、本社・工場部門の統合、一括認証登録を行いました。

2017年にはISO14001:2015への移行と総合技術開発センタ、富岡第二工場の拡大審査を完了しました。

2019年には朝霞事業所が新規認証を取得し、落合・所沢サイトに加わりました。

現在、本社・開発部門の落合・所沢サイト、ME用品の販売・配送を行う鶴ヶ島サイト、ME用品の開発・医用電子機器の安全性・信頼性試験を行う川本サイト、修理・保守を行う藤岡サイト、製造・配送を行う富岡サイトで活動を行っています。

●環境マネジメントシステム(EMS)推進体制

詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



<https://www.nihonkohden.co.jp/information/environment.html>

●グリーン調達について

日本光電は、日本光電グループの環境理念に基づき、環境に配慮した商品を市場に提供する一環として、環境負荷の小さい製品・部品・材料などの調達(以下、グリーン調達)を推進しています。グリーン調達の推進にあたっては、以下の方針で臨んでいます。

1. 品質・価格・納期・サービスなどに加え、環境保全活動に意欲的な取り組みを実践しているお取引先様からの購入を優先します。
2. 調達品の選定にあたっては、有害物質を含まない物を優先します。

お取引先様へのお願い事項や環境保全の取り組み、化学物質含有調査等の詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



<https://www.nihonkohden.co.jp/information/environment.html>

環境理念・環境方針

環境マネジメントプログラムに基づく目標および実績

環境目標	2019年度の環境目標	活動実績
1. 業務効率向上による生産性向上と環境負荷低減	個々に具体的な目標値を設定し、生産性を向上する。	達成率 ○ 各サイト(落合・所沢・富岡・藤岡・川本・鶴ヶ島)において、業務目標に基づく活動を順調に実施し、環境負荷軽減を推進することが出来ました。
2. 事業活動の中で環境負荷低減の推進と汚染の予防	2-1 環境配慮型製品の提供により、ライフサイクルにおけるCO ₂ 排出量を8%削減する。 2-2 環境配慮型製品の開発を推進し、全ての新規開発製品において従来製品より環境負荷を平均5%低減する。 2-3 出荷後1ヵ月以内の初期不良率を前年度比3%低減する。 2-4 預かり修理品の再修理率を0.20%以下とする。	達成率 △ 4テーマ中3テーマにおいて目標を達成できましたが、2-1については従来製品と新製品(環境配慮型製品)の差が小さくなったため1.8%削減で未達成でした。今後は、環境配慮型製品の開発と販売を促進し、さらなるCO ₂ 排出量削減を進めます。
3. 事業活動の中で脱炭素社会実現に向けたエネルギー使用量、CO ₂ 排出量の継続的低減	3-1 エネルギー使用量原単位にて前年度比1%改善する。 3-2 CO ₂ 排出量原単位にて前年度比1%改善する。 3-3 東日本物流センターのエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量のデータ取得を開始する。 3-4 2019年度は海外グループ会社主要3拠点(日本光電アメリカ、日本光電ヨーロッパ、上海光電)のエネルギーおよび投入資源データを収集する。	達成率 ◎ クールビズ・ウォームビズに対応した各事業所の空調運用と生産設備の運用改善、中長期計画に基づいた設備改修を実施し、エネルギー使用量原単位、CO ₂ 排出量原単位ともに目標を達成しました。 ISO14001認証取得に向け、東日本物流センターの投入資源、廃棄物データの取得を進めました。 Science Based Targets設定に向け、今後も海外グループ会社のデータ取得範囲を拡大していきます。
4. 循環型社会形成への貢献	4-1 リデュース、リユース、リサイクルを推進し、廃棄物総排出量は事業所再編による廃棄物を除いて前年度比0.8%削減し、原単位は6.0%改善する。 4-2 廃棄物分別を進め、朝霞事業所の一般廃棄物の最終処分率を1.8%以下(リサイクル率98.2%以上)とする。	達成率 ○ 廃棄物排出量は前年度比1.8%削減できましたが、原単位目標は5.1%改善にとどまりました。今後は、排出量の大きい生産系廃棄物をターゲットに、削減を進めていきます。 朝霞事業所のリサイクル率は分別を進め、100%で目標を達成しました。

※ISO14001認証5サイト。

達成率 100%◎、80%以上○、80%未満△

Topics

日本光電では、気候変動に伴う自然災害によるサプライチェーンの途絶、水資源の供給不足による生産遅延を事業上のリスクと捉えています。今後は、環境配慮型製品の提供によりScope3*のCO₂削減を継続するとともに、当社グループ全体の投入資源、エネルギーを把握し、水使用量や、Scope1、2*のCO₂排出量の開示と削減目標の設定を進めていきます。また、2019年度に稼働した東日本物流センターのISO14001認証取得に向けて、2020年度から環境活動を開始します。

※ Scope1: 当社での燃料の使用に伴う排出(直接排出)、Scope2: 他社で生産されたエネルギーの使用(主に電力)に伴う排出(間接排出)、Scope3: 当社のサプライチェーンにおけるその他の間接排出。